

# 節水便器 累計出荷台数400万台突破！

2008年9月、日本衛生設備機器工業会(会長:木瀬照雄)が300万台突破を発表した節水便器(洗浄水量6L以下)は、2009年5月までの8ヶ月で出荷台数が100万台を超え、累計で400万台を突破しました。

これは、消費者の皆様の“エコ製品への買替え”、“水道料金等のランニングコスト”、“環境配慮”、“地球温暖化問題(CO2削減)”などに対する意識の高まりが表れた結果かと思われます。

しかしながら、市場にはおよそ7,101万台を超える洋風便器がありますが、未だ節水便器のシェア(市場占有率)は、その5.7%程度でしかありません。  
環境配慮、CO2削減のためにも、節水便器の普及促進が必要です。

6月10日、政府は、日本の温室効果ガス削減目標(中期目標)「2020年までのCO2排出量を15%削減(05年比)」の達成を発表しています。

工業会も環境保護に貢献するため、引続き各方面に“便器のエコ替え”についての積極的な働きかけを行っていきます。

## まめ知識♪ 【低炭素社会(温室効果ガスの1つである二酸化炭素=CO2の排出が少ない社会)への貢献】

工業会の試算では、日本全国の便器が節水便器に置き換わった場合、年間約10億6000万m<sup>3</sup>の節水(東京ドーム854杯分)、CO2排出量年間約63万tの削減。これは常葉樹4,460万本分に相当します。

### 6L以下の節水便器の出荷状況

年	出荷数量
95~07	1,980,731
08	1,477,772
09/1~5	562,942
合計	4,021,445

